

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	その他専門店 [陶器]（製造）	販売量の動き	・販売個数が多くなっている。取引先でも在庫不足に悩んでいるという声を聞く。
	○	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症が5類感染症に分類され、来客数も以前と比べれば少しだけ良くなっているようであるが、店によっては格差があり、大変である。
	○	一般小売店 [酒]（店長）	販売量の動き	・また新型コロナウイルスの新規感染者数が増えているが、重症者が少ないため前年よりは比較的報道が少ない。
	○	スーパー（企画担当）	来客数の動き	・5月は、入域観光客数の増加により県内経済が回復していることと、例年より梅雨入りが遅く、清明祭やゴールデンウィークなどのハレの日需要が高まったことで、来客数が増加となり、売上実績が前年を超過している。
	○	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数が上向きになってきているため、売上が増加している。
	○	コンビニ（副店長）	販売量の動き	・3か月前と比べ微増で良くなっているが、台風と梅雨の影響もあり期待していた実績ではなかったのが悔やまれる。
	○	その他飲食[居酒屋]（経営者）	来客数の動き	・週末の入客は新型コロナウイルス感染症発生前まで回復している。観光客、地元も団体客が増えてきている。しかし、平日は営業時間の前半のみで、午後9時以降はほとんど入客がない。
	○	観光型ホテル （代表取締役）	来客数の動き	・夏に向けて宿泊部門の予約に動きが出ており、2019年には届いていないが上向きである。料飲部門はまだ厳しい状況にあり、宴会など動きは出ているものの、2019年と比べて今一つである。
	○	旅行代理店（マネージャー）	お客様の様子	・新規予約や問合せがかなり増えてきている。
	○	住宅販売会社 （役員）	お客様の様子	・モデルルームへの来場者数が増えつつあり、対面での会話も弾むようになってきている。販売状況も順調に推移している。
	□	百貨店（経営担当）	お客様の様子	・物価の上昇に伴う節約志向や生活防衛意識の高まりにより、購買意欲が変化している。
	□	スーパー（販売企画）	単価の動き	・1品単価が約8%上昇しており売上を押し上げている。販売量は約5%落ちているが来客数が前年並みくらいで維持しているため売上は少し良い状況にある。
	□	乗用車販売店 （経理担当）	お客様の様子	・購買意欲の落ち込み等はみられない。
	□	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・販売数が前年比75%と低水準が続いている。買換えプランが伸びていることと、日用品や水道光熱費の値上げにより消費意欲が落ちていることが要因と考えられる。
	□	住宅販売会社 （代表取締役）	来客数の動き	・新規の建築相談件数が減少傾向にある。
	▲	衣料品専門店 （経営者）	来客数の動き	・今月は忙しい日と暇な日の差が激しい。梅雨や台風で天候が悪い日が多かったこともあり、それだけが原因ではないと考えられるが、今月は売上が落ちている。
	▲	一般レストラン （代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染者数が増えてきて、来客数が少し減っているようにみられる。
	▲	観光型ホテル （企画担当）	販売量の動き	・ホテルの3月の販売室数が前年比195%増加なのに対し、6月の販売室数は同比105%増加となり、プラス幅が小さくなっている。
	×	家電量販店（営業担当）	来客数の動き	・直近の来客数は前年比90%である。この数か月は同様の流れが続いている。全体的な値上げによる買い控え、また前年に大きく伸びた季節商材の反動減、この2点が大きな要因とみられる。
	×	乗用車販売店 （営業担当）	販売量の動き	・新車販売台数は回復傾向にあったが、今月は、新型コロナウイルス感染症の影響で厳しかった前年実績を大きく割り込んでいる。
企業	◎	－	－	－

動向 関連 (沖縄)	○	食料品製造業 (役員)	受注量や販売量 の動き	・沖縄の梅雨時期にもかかわらず、観光客、修学旅行の回復が順調に進んでいる。県外地方からの沖縄フェア企画の商談もあり期待できる。
	○	会計事務所(所長)	取引先の様子	・観光業は全般的に業績回復が著しい。V字回復となっている事業者も多い。ただし、ホテル業は過去の赤字負担が大きいため財務状況の改善には時間を要する。
	□	窯業土石業(取締役)	受注量や販売量 の動き	・見積りは、公共工事、民間工事共に大型案件は減少し、小口案件が若干増加傾向である。
	□	建設業(経営者)	受注価格や販売 価格の動き	・小額なリフォームの相談は多いが、高額な建築の相談が止まったままである。
	▲	—	—	—
	×	—	—	—
雇用 関連 (沖縄)	◎	—	—	—
	○	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・長く依頼の途絶えていた客から、久しぶりに依頼があったり、新規の依頼も増えている。
	○	人材派遣会社 (総務担当)	それ以外	・観光客の増加に伴い、観光業等の景気が良くなっている。
	○	職業安定所(職員)	求人数の動き	・沖縄県の南部地域の求人数が、前年同月よりも増加している。観光関連の業種だけでなく、全体的に増えている。
	□	学校[大学] (就職支援担当)	それ以外	・物価高騰により消費行動を抑える傾向が続いているとみられる。
	▲	求人情報誌製作 会社(営業)	求人数の動き	・年明けから年度初めにかけて一定数あった求人数は、前月、今月と徐々に減少している。3か月前と比較すると今月は20%ほど減少している。
	▲	学校[専門学校] (就職担当)	求人数の動き	・4月より多くの求人があったが、ここに来て学内説明会や新規求人依頼が少なくなっている。
×	—	—	—	